

5) 今後の展開

密集住宅市街地整備促進事業の建替促進事業については、まちづくり協議会としては従前より行っている事業の宣伝・啓発活動をより一層進めていく必要があると考えているが、建替促進事業説明会に招いた井上講師が言われたように、とにかく成功事例を作ることが一番大切と考えられるが、そのためにはどのような活動をすればよいかを今後大阪市とよく話し合う必要があると考える。ただ、建替事業が進んで行った場合には単に共同建替えによる共同住宅が別個に建ち並ぶだけでなく、例えば広域の協調建替えを進めて行くように、生野区南部地区全体のまちづくりとして、従来の町並みと調和した、美しい街の景観としていくにはどうすべきかという観点から考えて行く必要が将来的には生じることが考えられる。このことは、今後建替えを促進していくためにも必要と考えられる。

狭あい道路拡幅整備事業についても、まちづくり協議会としては従前より行っている事業の宣伝・啓発活動を行っていく必要があると考えているが、行政が着々と事業を進捗していく状況になったとき、まちづくり協議会としてはどのような支援をするかを大阪市とよく話し合う必要があると考える。この事業についても、一筋の道全体を後退させ、防災面の機能を完全するにはどうすればよいのか、広くまちづくりの観点から検討する必要があると考えられる。

まちかど広場の整備と住宅地区改良事業については、特に改良住宅の建設について、協議会の活動としても重要な時期を迎えており、今後ともまちづくり協議会としてワークショップ、検討委員会等に参加することで、整備・建設のプラン作りに積極的に提案を行って行き、まちづくりに協議会、住人の意向が反映されるよう実践的なまちづくり活動を行っていきたい。